

# 平成26年度介護保険適正運営協議会資料

平成26年9月29日

保険部介護保険課

## もくじ

1 介護保険事業の状況について	.....	1
2 介護保険料について	.....	3
3 介護給付適正化について	.....	4
4 介護サービス提供に係る事故報告件数について	.....	5
5 苦情・相談等の状況および主な苦情と対応について	.....	6
6 実地指導の状況等について	.....	8
7 その他	.....	9

# 1 介護保険事業の状況について

表1 全人口・高齢者人口

(単位:人)

年度	全人口	40～64歳人口	人口比	高齢者人口	人口比
平成23年度末	481,723人	154,954人	32.2%	109,604人	22.8%
平成24年度末	482,456人	153,892人	31.9%	114,424人	23.7%
平成25年度末	483,134人	152,938人	31.7%	119,071人	24.6%
対前年度比(H24 H25)	100.1%	99.4%	-	104.1%	-

表2 要介護認定状況

(単位:人)

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成23年度末	3,246	3,794	4,040	3,773	2,585	2,487	2,194	22,119
平成24年度末	3,467	4,238	4,321	3,903	2,722	2,537	2,203	23,391
平成25年度末	3,448	4,510	4,331	4,324	2,838	2,623	2,195	24,269
対前年度比(H24 H25)	99.5%	106.4%	100.2%	110.8%	104.3%	103.4%	99.6%	103.8%

(単位:人)

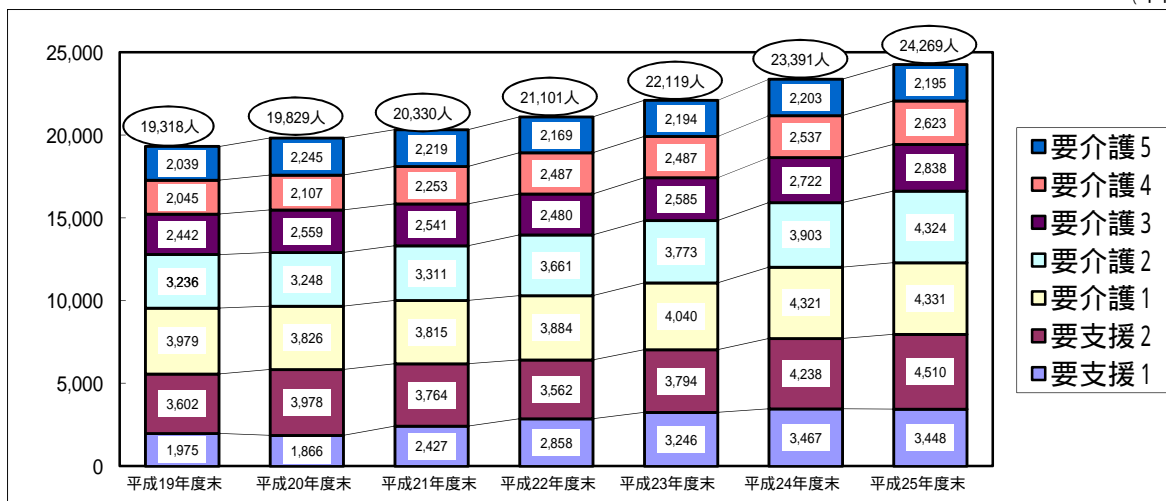


表3 サービス受給者実績

(単位:人)

年度	対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成23年度	居宅	1,911	2,748	3,040	2,845	1,606	1,144	734	14,028
	地域密着型	26	29	338	363	377	291	160	1,584
	施設	-	-	182	353	549	933	1,002	3,019
	計	1,937	2,777	3,560	3,561	2,532	2,368	1,896	18,631
平成24年度	居宅	2,017	2,926	3,203	2,969	1,741	1,144	778	14,778
	地域密着型	28	49	368	420	461	297	215	1,838
	施設	-	-	187	349	547	984	998	3,065
	計	2,045	2,975	3,758	3,738	2,749	2,425	1,991	19,681
平成25年度	居宅	2,002	3,094	3,265	3,377	1,838	1,174	805	15,555
	地域密着型	29	36	325	472	470	313	217	1,862
	施設	-	-	172	355	592	993	960	3,072
	計	2,031	3,130	3,762	4,204	2,900	2,480	1,982	20,489
対前年度比(H24 H25)		99.3%	105.2%	100.1%	112.5%	105.5%	102.3%	99.5%	104.1%

表4 保険給付費実績

(単位:百万円)

年度	居宅サービス費	地域密着型サービス費	施設サービス費	高額介護サービス費	特定入所者介護サービス費	審査支払手数料	合計
平成23年度	15,061	3,724	9,430	564	959	40	29,778
平成24年度	15,684	4,382	9,414	607	1,036	41	31,164
平成25年度	16,638	4,784	9,501	629	1,091	43	32,686
対前年度比(H24 H25)	106.1%	109.2%	100.9%	103.6%	105.4%	106.4%	104.9%

(単位:百万円)

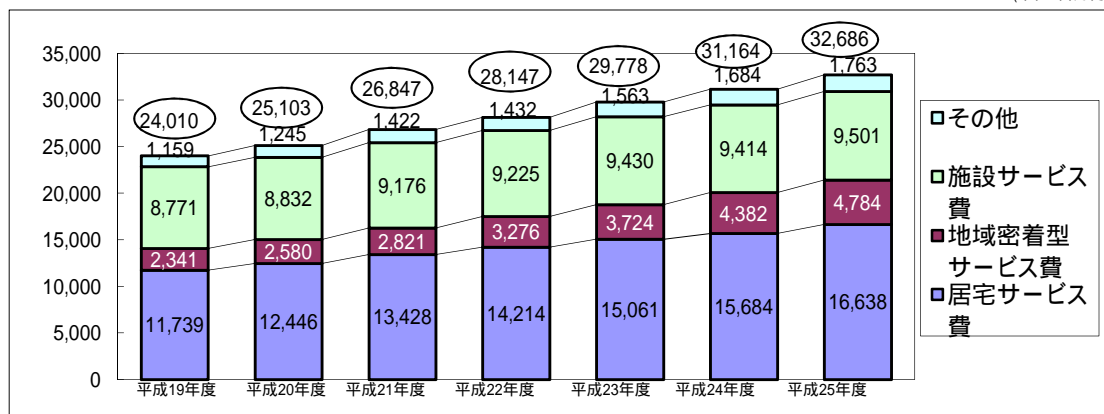


表5 地域支援事業費実績

(単位:千円)

年度	介護予防事業費	包括的支援事業・任意事業費	合計
平成23年度	211,818	516,872	728,690
平成24年度	206,221	539,313	745,534
平成25年度	213,646	547,644	761,290
対前年度比(H24 H25)	103.6%	101.5%	102.1%

表6 保険料収納状況

(単位:千円)

平成24年度	保険料		調定額	収納額	収納率
	現年分	特別徴収	6,349,933	6,349,933	100.0%
	普通徴収	786,428	694,322	88.3%	
	計	7,136,361	7,044,255	98.7%	
	滞納繰越分	146,154	25,169	17.2%	
	合計	7,282,515	7,069,424	97.1%	

平成25年度	保険料		調定額	収納額	収納率
	現年分	特別徴収	6,635,672	6,635,672	100.0%
	普通徴収	806,013	712,206	88.4%	
	計	7,441,685	7,347,878	98.7%	
	滞納繰越分	165,704	30,300	18.3%	
	合計	7,607,389	7,378,178	97.0%	

## 2 介護保険料について

段階	対象者	保険料率		第5期保険料 年額 (月額)	対前期 差額 率	前期保険料		
		国の標準	倉敷市			年額 (月額)	保険料率	段階
1	老齢福祉年金受給者で世帯全員が市町村民税非課税 生活保護の受給者	基準額×0.5	基準額×0.5	32,580円 (2,715円)	+4,380円 +15.5%	28,200円 (2,350円)	基準額×0.5	1
2	本人の前年中の合計所得金額と課税年金収入額の合計額が80万円以下	基準額×0.5	基準額×0.5	32,580円 (2,715円)	+4,380円 +15.5%	28,200円 (2,350円)	基準額×0.5	2
3	本人及び世帯全員が市町村民税非課税	基準額×0.75	基準額×0.65	42,360円 (3,530円)	+2,880円 +7.3%	39,480円 (3,290円)	基準額×0.7	3
4	本人の前年中の合計所得金額と課税年金収入額の合計額が120万円を超える		基準額×0.7	45,620円 (3,802円)	+6,140円 +15.5%			
5	本人が市町村民税非課税で世帯のだれかが課税	基準額	基準額×0.85	55,390円 (4,616円)	+7,450円 +15.5%	47,940円 (3,995円)	基準額×0.85	4
6	本人の前年中の合計所得金額と課税年金収入額の合計額が80万円を超える		基準額	65,160円 (5,430円)	+8,760円 +15.5%			
7	本人が市町村民税課税	基準額×1.25	基準額×1.15	74,940円 (6,245円)	+10,080円 +15.5%	64,860円 (5,405円)	基準額×1.15	6
8			基準額×1.25	81,450円 (6,788円)	+10,950円 +15.5%			
9	本人の前年中の合計所得金額が125万円未満	基準額×1.5	基準額×1.5	97,740円 (8,145円)	+13,140円 +15.5%	84,600円 (7,050円)	基準額×1.5	8
10	本人の前年中の合計所得金額が125万円以上190万円未満		基準額×1.75	114,030円 (9,503円)	+18,150円 +18.9%			
11	本人の前年中の合計所得金額が190万円以上400万円未満		基準額×2.0	130,320円 (10,860円)	+34,440円 +35.9%			

### 3 介護給付適正化について

#### (1) 要介護認定の適正化

##### 認定調査状況チェック

変更・更新認定申請における保険者職員による認定調査を実施している。(遠隔地を除く)

##### 認定審査会

国が作成した介護認定審査会平準化マニュアルの活用等を行っている。

#### (2) ケアマネジメント等の適正化

##### ケアプランチェック

- ・ 要介護認定の更新申請時にケアプラン(居宅サービス計画)の提出を求め、職員(介護支援専門員)による内容確認及び照会・確認結果等に基づく助言指導により、適切なプランへの位置付け・適正なサービス利用の確保を図る。

\*状況・・・1月あたり約400件のケアプランを確認

##### 住宅改修・福祉用具に関する調査(点検)

##### 1) 住宅改修

事前申請時又は住宅改修完成時において、保険給付として適正な改修か、事前申請どおりの改修か、などの点について疑義がある場合に、現地確認を行う。

##### 2) 福祉用具

使用が想定される状態像であるか、保険給付として適正な貸与・販売であるか、などの点について疑義がある場合、利用者や事業者等に確認を行う。また、軽度者に対する対象外種目の貸与についても、必要な理由を書面やヒアリングにより確認する。

#### (3) サービス提供体制及び介護報酬請求の適正化

##### 医療情報との突合・縦覧点検・・・国保連合会 介護給付適正化システムの活用

- ・ 介護給付情報と医療情報の算定整合性の点検により、事業所に対して疑義確認を行い、算定誤りに関しては過誤調整を指導する。
- ・ 複数月の介護報酬請求明細書における算定回数の限度確認やサービス間・事業所間の給付の整合性を点検し、事業所に対して疑義確認を行い、算定誤りに関しては過誤調整を指導する。

##### 介護給付費通知

受給者ごとにサービス利用実績を定期的にお知らせし、サービス提供の有無、費用額、利用者負担額に間違いはないか等の確認を促し、疑義があるサービス実績等を保険者に申し出てもらうことにより、架空・過剰請求などの不正・不適正事例の発見の契機となり得るもの。

##### 実施状況

平成14年度(平成15年3月から開始)

( 継続実施中 )

##### 平成25年度の状況等

発送	6月	9月	12月	3月	計
件数	18,644	19,005	19,271	19,358	76,278
利用月	1～3月利用分	4～6月利用分	7～9月利用分	10～12月利用分	(12ヵ月分)
問い合わせ	11	10	10	12	43

## 4 介護サービス提供に係る事故報告件数について

(H25.4.1～H26.3.31発生分)

サービスの種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合 計				
	訪問介護	訪問看護	通所介護	通所リハビリテーション	福祉用具貸与	短期入所生活介護	短期入所療養介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	地域密着型介護老人福祉施設	特定施設入居者生活介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型施設					
合計	3	1	40	25		49	5	2	27	187	3	17	100	106	2	158	1	4	724	6
年齢	40～64歳			1						1						3			5	
	65～74歳	1		3	1		3			3	10	1	2	5	4				34	1
	75～84歳			19	7		16	3	2	11	70	1	6	40	35	1	49	1	258	3
	85～94歳	1	1	18	14		25	2		12	88	1	6	54	51	76	2		350	1
	95歳～	1			2		5			1	18	3	4	15	1	26	2		77	1
発生場所	居室			3	1		26	3		6	92	3	51	60	100	3			348	
	廊下	1			2		7	1		2	10	3	17	8	17	1			69	
	トイレ			3	3		3				13	1	7	9	8				47	
	食堂			4	6		8		1	1	34	3	4	10	17	2	10	1	95	6
	風呂・脱衣所	1	1	1	2				1	1	4	2	3	2	2				20	
	施設内			15	8		2			14	17	3	4	8	20				91	
	屋外	1		11	2		3	1		3	16	1	8	1	1				48	
その他			3	1						1			1					6		
事故内容	転倒	2	1	32	21		42	4	2	11	134	14	86	73	97	1			520	
	転落			2	2		4			2	24		5	25	13	2			79	
	誤嚥・異食			1							9	3	2	3	1	2	1		17	5
	失踪			1			1	1		1	5		6						15	
	交通事故	1		3	1		2				1								8	
	感染症									11	10				41				62	
	その他			1	1					2	4	1	3	5	1	5	1		23	1
症状・結果	骨折			13	9		20	2		8	83	5	49	49	55	2			295	
	打撲・捻挫	2		10	4		13		1	2	33	5	16	37	17	1			141	
	切傷・擦過傷	1	1	10	2		5		1	4	21	3	14	9	14	1			86	
	誤嚥性肺炎・窒息										6	3		1	1	1	1		8	5
	感染症状									11	10				41				62	
	異常なし			4	10		7	3		2	31	3	19	3	27				109	
	その他			3			4				3	1	2	7	1	3			23	1

平成24年度の事故報告件数は、732件(うち、死亡9件)。

■部分は、死亡の件数。

感染症については、施設等において10人以上(職員を含む)の感染者が発生したのについて、報告を求めた。

## 5 苦情・相談等の状況および主な苦情と対応について

### (1) 苦情・相談等の状況

#### 区分別

(単位:件)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
問い合わせ	8,655	6,938	6,703	6,697	6,700	4,780	5,571	5,245
照会	148	157	67	158	161	117	108	58
相談	1,029	626	454	431	504	886	770	874
苦情	895	455	419	163	111	179	253	265
要望・その他	1,021	1,264	579	849	1,046	1,105	1,569	971
合計	11,748	9,440	8,222	8,298	8,522	7,067	8,271	7,413

#### 内容別

(単位:件)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
要介護認定	3,914	2,974	2,353	3,303	3,852	3,458	3,945	3,373
ケアプラン	384	274	91	100	90	39	43	16
サービス	2,135	1,780	1,125	1,474	1,434	1,181	1,520	1,275
利用者負担	193	72	72	94	107	51	30	23
保険料	4,318	3,380	3,493	2,368	2,142	1,300	1,769	1,601
その他	804	960	1,088	959	897	1,038	964	1,125
合計	11,748	9,440	8,222	8,298	8,522	7,067	8,271	7,413

#### 苦情の分類

(単位:件)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
要介護認定	64	41	27	20	22	41	29	39
ケアプラン	9	2	1	2	1	0	20	1
サービス	61	3	27	15	27	31	32	34
利用者負担	4	2	2	1	1	0	4	0
保険料	732	335	328	113	43	81	120	129
その他	25	72	34	12	17	26	48	62
合計	895	455	419	163	111	179	253	265

\* 介護保険料は3年毎に見直しを行うことになっており、平成18年度、平成21年度、平成24年度に介護保険料の改定を行っています。

	第3期(平成18～20年度)	第4期(平成21～23年度)	第5期(平成24～26年度)
保険料	4,760円	4,700円	5,430円



## 5 苦情・相談等の状況および主な苦情と対応について

### (2) 主な苦情と対応(平成25年度)

分類	具体的内容	相談者	対応
要介護認定	要介護2だったのが、更新申請の結果、要支援2になった。夏場にデイサービスを休んだから要支援になったのか。	本人	認定結果は調査票、意見書の内容やコンピュータによる介護度の識別結果を踏まえ認定審査会で決まるため、デイサービスの利用とは関係がないと説明する。
	要介護1の認定が送られてきたが、自分はまだ介護を必要としていない。被保険者証をどこに返しに行けばよいか。	本人	申請はどなたが行なったのかと尋ねると、息子様とのこと。息子孝行と思って、まず結果が届いた事を連絡されてはどうか。今後サービス利用を希望されるなら、ケアマネを通じて事業所とのやりとりになる。被保険者証は返却不要と説明。息子が昼間一人になる自分を心配してデイサービスに行くように勤めてくれる。と申請について思い出してこられた様子。自分も引きこもらず外に出るようにしくは、認定結果は息子に連絡しますと聞いて電話を切られた。
	窓口に向くのが煩わしい。更新は自動的にしてくれ。立会いもしたくない。	本人	病院の相談員に申請の手伝いや立会いのお願いをされたか何うと相談員と話すのは嫌との事。申請される。
サービスに関する内容	ケアマネとヘルパーの態度や言い方が悪く、気分が悪くストレスが溜まる。ケアマネとヘルパーを変えると担当者会議が面倒臭い。4年間我慢してきたが、嫌な思いが多いので苦情を聞いて欲しい。	本人	ケアマネもヘルパーも変えられると説明。
	負担限度額が却下になった。	孫嫁	課税世帯であるため該当しなかったと伝えるが、孫嫁は「本人は一人暮らしなので課税世帯ではない」と主張。本人自身が「課税である」といっても納得されず、課税の理由を聞きたいとのことなので、市民税課に転送。
	ケアマネがデイサービス職員に余計な事を言った為、デイサービスをやめた。ケアマネにも不信任がありケアマネを変えたいが、どこのケアマネにすればいいかわからない。	本人	一覧表を渡し、希望の地域を伺い、更に病院併設の居宅が良いとの事なので該当の事業所を案内した。
保険料	8月から介護保険料を納付書で支払っているが、会社の給料からも引かれている。	本人	7/23に年齢到達のため7月分から保険料を市に納めていただくようになる。
	医療保険は納得いくが、介護は使わないので支払わない。	本人	介護保険は超高齢化社会を支えるために不可欠な保険であり、支払方法は法律で決まっていることを説明する。
	介護保険料が高い。昨年仕事を辞めた。年金機構からの通知では介護保険料が安くならない。	本人	6月までは今までと同額を引き、8月から調整することをお話する。
その他	利用者の所に人のよさそうな中年女性が「介護保険から来た。介護保険制度が変わった」と訪問して来た。利用者が「ケアマネから何も聞いてない」と言うと「間違ったかな」と言い、すぐに行ったとの事。市からそんな人が訪問したかどうかの確認。	ケアマネジャー	市からそのような訪問をすることはないと説明。還付金詐欺があるので注意していただくようお願いした。
	近隣の方がセニアカーを利用。運転が荒く、停めてある隣人の自転車にぶつかって壊したり倒したりしても特に断りもなく口で謝る程度。一度警察を呼んだが弁償もしないし修理もしない。保険で何とかかすと言っていたが介護保険では何が対応できるのか。	近隣住民	介護保険そのものは利用料の保険であると説明。レンタル事業者に対して保険加入するよう担当部署から指導しているが詳細については担当者から説明した。

## 6 実地指導の状況等について

平成25年度実地指導件数・指摘件数

(単位:件)

区分		実地指導件数		指摘件数		
		平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	
介護保険サービス事業所	居宅サービス事業所	訪問介護	31	22	52	59
		訪問入浴介護	1	-	0	-
		訪問看護	4	2	2	9
		訪問リハビリテーション	1	-	0	-
		通所介護	40	35	35	75
		通所リハビリテーション	8	-	13	-
		短期入所生活介護	17	1	4	1
		特定施設入居者生活介護	3	3	8	5
		福祉用具貸与	2	4	1	2
		特定福祉用具販売	2	4	1	1
		小計	109	71	116	152
	地域密着型サービス事業所	認知症対応型共同生活介護	14	17	28	36
		認知症対応型通所介護	3	-	2	-
		小規模多機能型居宅介護	8	7	13	16
		介護老人福祉施設	1	4	0	12
		小計	26	28	43	64
	居宅介護支援事業所		20	13	12	7
	介護老人福祉施設		13	9	9	10
	介護老人保健施設等		9	-	25	-
	介護予防支援事業所		13	-	3	-
計		190	121	208	233	

実地指導とは別に、平成26年3月11～14日に既存の介護サービス事業者をはじめ開設予定事業者等を集めて集団指導を実施

### 集団指導参加状況

案内数	参加数	参加率
889	817	91.90%

## 7 その他 倉敷市介護保険事業者等連絡協議会(平成25年度活動実績)

介護保険事業者等連絡協議会とは

倉敷市内において介護サービスを提供する保健・医療・福祉の事業者等で組織し、会員相互の連携と情報交換などを行い、介護保険制度の円滑な実施のため、高齢者等に対し総合的なサービスの提供や向上を図ることを目的としています。

### 主な活動

介護サービスの質の向上のための研修会等の開催に関すること

全ての事業所を対象として、介護についての知識・技術や近年のトレンドに関する情報などをテーマに取り上げて研修会を実施します。

介護サービスの普及及び市民啓発活動に関すること

毎年「介護の日」(11月11日)にあわせて、市民・事業者向けのイベントを開催しています。

(1)加入事業者数 253事業者

(2)活動実績

総会・研修会等の開催 開催回数 7回 延参加者数 523名  
 専門分科会の開催 開催回数 3回 延参加者数 102名

日付	会場	種類	形式	テーマ	参加者
2013/6/21	くらしき健康福祉プラザ	総会	講演	「社会構造の変化の中で介護事業所における今後の展望」 講師：川越 雅弘氏(国立社会保障・人口問題研究所)	101
2013/7/12	玉島市民交流センター	分科会	事例 検討	「地域とともに・運営推進会議」	32
2013/8/7	くらしき健康福祉プラザ	研修	GW	「仕事に追われない1日をつくるPART2」 ～よい人間関係を目指して～ 講師：小田 昌敬 氏(ファシリテーション株式会社代表取締役 社会福祉士)	46
2013/8/30	くらしき健康福祉プラザ	研修	GW	「仕事に追われない1日をつくるPART2」 ～よい人間関係を目指して～ 講師：小田 昌敬 氏(ファシリテーション株式会社代表取締役 社会福祉士)	41
2013/9/13	児島市民交流センター	分科会	講演	「認知症ケア(パート1)～人と人との関わり」	22
2013/10/4	くらしき健康福祉プラザ	研修	講演	レッツ！チームアプローチ・支援者力量アップ研修「嚥下障害の 簡単な評価とケア」 講師：阿部 泰昌 氏(倉敷リハビリテーション病院)	40
2013/11/16	倉敷市環境交流スクエア	イ ベ ン ト	イ ベ ン ト	「介護の日フォーラム2013・しゅうかつフェスタ」 ・就職説明会 ・福祉用具展示 ・ふれあい作品展 ・講演 ・ロコモ体操	200
2013/11/16	倉敷市環境交流スクエア	研修	講演	「人生イキイキ！さあはじめよう終活」 講師：瓜生 浩輔 氏(NPO法人地域生活総合支援センター はあとふるネットワーク 理事長)	30
2014/1/28	ライフパーク倉敷	研修	講演	「高齢者虐待の防止について」 講師：本城 匡 氏(倉敷市役所高齢福祉課)	65
2014/2/21	くらしき健康福祉プラザ	分科会	講演	「シンプルなコミュニケーション術講座」 講師 林 俊之 氏(経営コンサルタント)	48
			講演	「ロールプレイングで感情体験学習」 講師 時田 学 氏(日本大学商学部講師)	

(注：GW 「グループワーク」)